

研究業績目録

I. 論文

N O	著者および共著者名 (本人に下線) ※筆頭論文1編以上必須※	論文題名	発表雑誌名 著者名	巻(号)頁(～)	発表年月 (西暦)	点数
合 計						

発表順／種類	欧米論文	和文論文
筆 頭	10	6
共 同	3	2

以上の通り相違ありません。

平成 年 月 日 氏名(自筆) _____

研 究 業 績 目 録

Ⅱ. 学会等発表

NO	発表者、共同発表者、司会、座長	演題・司会座長はセッション名	学 会 名	開催地	発表年月（西暦）	点 数
合 計						

発表順／種類	国際学会発表 日本乳癌学会発表	国内学会発表	日本乳癌学会地方会発表 乳腺関連研究発表表
筆 頭	4	3	2
共 同	1	1	1

以上の通り相違ありません。

平成 年 月 日 氏名（自筆）_____

研究業績目録

Ⅲ. 司会あるいは座長

NO	司会あるいは座長	学会名	セッション名	開催地 (都市名など)	司会年月日 (西暦)	点数
合 計						

Ⅳ.業績点数

※日本乳癌学会座長 3点※

項目	点数
論文	
発表	
座長	
合計	

以上の通り相違ありません。 平成 年 月 日 氏名 (自筆) _____

地方創生委員会判定 (合・否) 委員署名 : [_____] [_____]
--

化学療法 診療実績一覧表

施設名：

修練した施設の指導責任者（指導医・専門医が証明）

指導医・専門医氏名： 印

申請者氏名 印

期 間	乳癌 (100 例以上)	原発乳癌	再発乳癌	その他の悪性	診断	終末緩和医療
	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例

- 注1) 修練した施設毎に記入してください。
- 注2) 同じ施設で複数回修練した場合、期間順に別の欄に記入してください。（記入欄不足のときは用紙²-可）
- 注3) 原発乳癌：術前化学療法、術後補助療法などの治療経験例数
- 注4) その他悪性：悪性葉状腫瘍、悪性リンパ腫、肉腫など
- 注5) 診断：マンモグラフィ、乳房超音波検査、MR マンモグラフィ、および乳腺 CT 検査の読影経験症例（同一症例の重複可）
- 注6) 乳癌（100 例以上）以外の項目は、乳腺専門医修練カリキュラムの必要経験例数に達していなくても可とする。

画像診断 診療実績一覧表

施設名：

修練した施設の指導責任者（指導医・専門医が証明）

指導医・専門医氏名： 印

申請者氏名 印

期 間	乳癌 (100 例以上)	その他の 乳腺疾患 1	その他の 乳腺疾患 2	マンモグラフィ	乳房 超音波検査	MR マンモグラフィ	乳腺 CT 検査	骨シンチ グラフィ	インターベンション 診断
	例	例	例	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例	例	例	例

- 注1) 修練した施設毎に記入してください。
- 注2) 同じ施設で複数回修練した場合、期間順に別の欄に記入してください。（記入欄不足のときは用紙コピー可）
- 注3) その他の乳腺疾患 1：乳腺症、線維腺腫、および女性化乳房症の診療経験の合計例数
- 注4) その他の乳腺疾患 2：思春期早発症、副乳、乳管拡張症、乳汁漏出症、周期性乳房痛（月経依存性）、乳瘤、急性乳腺炎、産褥乳腺炎、乳輪下膿瘍、乳管内乳頭腫、乳頭部腺腫、腺腫、葉状腫瘍、Peget 病、および肉腫の合計例数
- 注5) マンモグラフィ、乳房超音波検査、MR マンモグラフィ、乳房 CT 検査は、全ての疾患を含む診断経験例数（同一症例の重複可）
- 注6) インターベンション診断：穿刺吸引細胞診、針生検、および吸引式組織生検の実施経験の合計例数
- 注7) 乳癌（100 例以上）以外の項目は、乳腺専門医修練カリキュラムの必要経験例数に達していなくても可とする。

放射線治療 診療実績一覧表

施設名 :

修練した施設の指導責任者 (指導医・専門医が証明)

指導医・専門医氏名 : 印

申請者氏名 印

期 間	乳癌 (100 例以上)	乳房温存後 照射	乳房切除後 照射	局所進行 乳癌	皮膚軟部 転移	リンパ節 転移	骨転移	胸壁再発	脳脊髄	その他の 放射線治療
	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例

- 注1) 修練した施設毎に記入してください。
- 注2) 同じ施設で複数回修練した場合、期間順に別の欄に記入してください。(記入欄不足のときは用紙コピー可)
- 注3) 診療経験は放射線治療のみ記入。全て同一症例の重複記入可
- 注4) その他の放射線治療 : Peget 病、全脳照射、定位手術的照射、小線源照射など合計治療例数
- 注5) 乳癌 (100 例以上) 以外の項目は、乳腺専門医修練カリキュラムの必要経験例数に達していなくても可とする。